



「みんなを明るくするオアシス支援事業」

日光市在宅介護オアシス支援事業者連絡協議会

はじめに

2000 年、介護保険制度のスタートに合わせて、旧今市市でオアシス支援事業が始まりました。それから 20 余年様々な取り組みを行ってきました。その歩みにはたくさんの魅力が詰まっています。しかし、この魅力をどうやって地域に伝えるか、はオアシス連絡協議会にとってこれまで大きな課題でした。そこで、今年度は「オアシス支援事業所の魅力の発信」をテーマに冊子作りに取り組みました。オアシス支援事業者の方々とその魅力について語り合い、各代表の方お一人おひとりに 1 時間程度インタビュー形式でお話をうかがい、その内容をまとめて一つの冊子にしました。一連の取り組みは、私にとって今後の福祉のあり方を学ばせていただく大変貴重な経験となりました。お忙しい中、各事業者の皆様にはご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

今回の冊子作りでは 1 年を通して企画の段階から、オフィス C の川田さん、ぽぼらの町田さん、宇都宮大学の徳竹さん、一言さん、亀谷さん、市の担当者の方、多くの方にたくさんのお力添えをいただきました。この場をお借りして心から感謝申し上げます。

地域福祉の課題は年々複雑化し、ニーズも多様化し、今後ますますオアシス支援事業所の役割が問われていくと思われます。今回作成した冊子はこれからのあり方を示す物であり、オアシス支援事業所の多くの魅力が詰まっています。今後の発展に役立つことを心から願っています。

オアシス連絡協議会

令和 3 年度 会長 本橋隆史

目次

はじめに	P 3
目次	P 4
事業紹介・マップ	P 5
事業所紹介	
01. 森友あかね	P 6
02. せがわ	P 7
03. 毎日クリスマス	P 8
04. ひなたぼっこ	P 9
05. もみの木	P10
06. あおぞら	P11
07. グループこばやし	P12
08. ほほえみ	P13
09. 杉並	P14
10. 野の花	P15
11. はじめのいっぽ	P16
12. ひだまり	P17
13. 大原あかね	P18
14. 桜蘭	P19
15. ちいさな木	P20
あとがき	P21

事業の紹介

元気な高齢者や障がい者が日常的に集うことができる場所を提供する事業です。市内に15箇所のオアシス支援施設があり、原則週5日、午前9時～午後4時まで開いています。気軽に遊びに行って、1日または半日、みんなで楽しく過ごすことができます。新しい居場所を見つけて、一緒に活動してみませんか。お待ちしております！

利用できる方

- ・65歳以上の高齢者（原則として要介護1～5の認定を受けていない者）
- ・障がい者

親の冠婚葬祭などで保護が必要となった“乳幼児や児童”の受け入れも行っています。

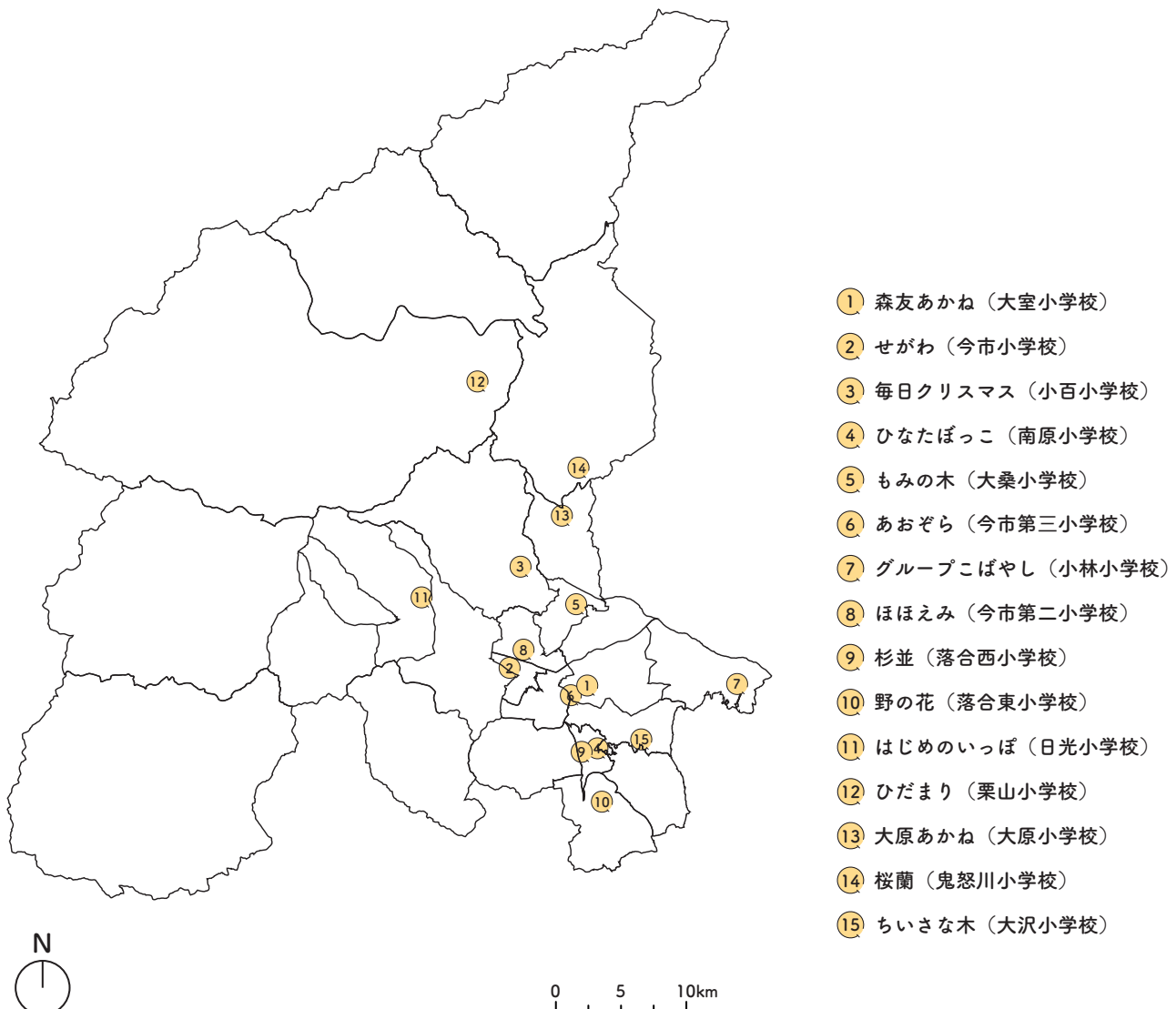
活動内容

- ・文化活動（書道・手芸・マージャン・カラオケ・大正琴・踊り・合唱など）
- ・スポーツ活動（ゲートボール、グラウンドゴルフなど）
- ・介護予防（健康体操、脳トレなど）

施設ごとに特色があり、活動内容はさまざまです。

小学校区別マップ

オアシス支援事業施設は小学校区に1施設が原則となっています。



01 森友あかね



代表者：加藤カツイ
TEL：0288-21-4300
FAX：0288-21-4300

所在地
日光市森友 1125-47

利用料金
¥1,100（送迎なし）
¥1,300（送迎あり）

人気行事
健康麻雀、書道、三味線、落語



🕒 開設のきっかけ

農業協同組合が福祉の需要に着目しはじめた資格取得の研修会に参加し、ヘルパーの資格を取得しました。高齢者が集まってお茶できるような場所を作りたいという思いから、介護事業を開設する場所を探し、旧公民館として利用していた建物を改修して宅老所を始めたのがきっかけです。介護保険

制度の始まりに伴い、制度の対象から外れてしまった元気な高齢者のための事業として日光市と二人三脚でオアシス支援事業を始めました。地域に根付いた地域住民のよりどころを目指し今日まで22年間オアシスを運営してきました。

🕒 インタビュー

・今までの活動を振り返って、最高に生き生きとした瞬間はどのようなときですか？

NPO 法人あかね会という大きな組織の中にいるので考えるべきことは多くありますが、利用者様からいただく「あかねがあってよかった」などの温かい言葉の積み重ねでいきいきと活動できています。食事や日常の会話を通じて良い雰囲気づくりができています。その雰囲気が地域に広がって地域住民に安心を与えていることが私たちの喜びです。

・今まで活動を続けてこられた秘訣を教えてください。

利用者様同士の繋がりを大切にすることです。現在の利用者のほとんどは、知り合いの紹介がきっかけです。知り

合いでつながるコミュニティが暖かい雰囲気を作り出し新たな輪が広がっていきます。スタッフと利用者様が支え合って活動しているため、アットホームな雰囲気づくりを継続することができます。

・オアシス支援事業所の素晴らしい点は何だと思いますか？

地域の方からの信頼が厚いところです。例年開催している「あかね祭」は中高生や地域の方々のボランティアをうけながら、200 人もの地域住民が集まる賑やかな祭りです。みなさんの支援を受けながら祭りを開催することで、地域に受け入れられ、愛されている事業であるという実感を得ることができます。



落語



健康麻雀



美味しい昼食です

メッセージ

コロナに負けず地域交流のイベントを考えています。是非参加してみてください！

代表者 加藤カツイ



代表者：手塚美智子

TEL：0288-22-0310

Mail：michiko.sky.6.8@docomo.ne.jp

利用料金

¥1,200（昼食・送迎込み）

人気行事

トランプ、パズル、ドライブ

所在地

日光市瀬川 1163-2



開設のきっかけ

土地を持っている友人に誘われたことがきっかけで、22年前に開設しました。当時はグループホームを始めようと計画していましたが、市役所に補助金を申請しに行った際にオアシス支援事業の説明を受け魅力的な活動だと感じました。地

域との密着が薄い立地であったため、当初は利用者の呼び込みに苦労しました。友人から運営を引き継いだタイミングで「利用者と一緒に活動を楽しむアットホームな場づくり」を掲げ、せがわに愛着を抱く利用者が増えていきました。

インタビュー

・今までの活動を振り返って、最高に生き生きとした瞬間はどのようなときですか？

利用者の方々が、イベントを楽しんでくれているのを実感した時です。私自身も利用者様たちと一緒に活動を楽しんだ思い出がたくさんあります。旅行先の道の駅でみんなで大量の買い物をしたことなどは今でも鮮明に覚えています。遠方から来る利用者様には他の施設をすすめることもあるのですが、「手塚さんがいい」といってせがわを利用してくれる方々の声がとても励みになっています。

・今まで活動を続けてこられた秘訣を教えてください。

地域に密着し人を引き付けるスタッフたちの人柄です。

利用者の方々を満足させるだけでなく、自分たちも一緒になって楽しむことを大切にしてきました。大型のバスを借りて旅行イベントを計画したり、ピクニックやお花見に出かけたりとアクティブな活動も行ってきました。現在は新規の利用者の方々も訪れやすいように工夫して曜日ごとに様々な活動を実施しています。

・オアシス支援事業所の素晴らしい点は何だと思いますか？

友達を作るための場が提供できることです。いくつになっても新しい友達が出いることは生活を活気づけますし、毎日が楽しくなります。利用者の方々は第二の家のような感覚でせがわを活用してくれています。



バースデーケーキづくり



地元中学生との交流



ジグソーパズルで脳トレ

メッセージ

オアシスなら遠慮がいら
ない！日頃のストレスを
一緒に発散しましょう！

代表者 手塚美智子



代表者：三上幸子

TEL：0288-21-7030

Mail：nikko@xmas.or.jp

所在地

日光市佐下部 305

利用料金

¥1,200（昼食・送迎込み）

人気行事

手芸、絵手紙&アート、英語クラブ



開設のきっかけ

1996年5月にデイホーム毎日クリスマスを開所しました。介護保険制度開始に伴い、利用者の中で認定外・不該当者となる方々がいらっしや、当時福祉の街作りに取組んでいた今市市と協力し『子供からお年寄りまで障がいがあってもなくても』をテーマに地域の方々の居場所作りを検討しまし

た。その結果、2000年5月より佐下部でもオアシス事業が始る事になりました。毎日クリスマスは開設前（1985.12）から『みかみさんちのクリスマス』子ども会（50人規模）としても人気で、学童保育の前身ともなりました。

インタビュー

・今までの活動を振り返って、最高に生き生きとした瞬間はどのようなときですか？

家族から疎まれ、邪魔者…『自分なんていない方が…早く死んだほうが…。』生きる意味、存在価値を否定。その方が『楽しい！生きてて良かった！！』と一緒に大笑いできた時は本当に嬉しかったです。また、不満ばかり、感謝無し、文句やつぶやきの多い人が『ありがとう！サンキュー！』と言って下さった事も。幅広いオアシス。子供とお年寄りの交流がいっぱいあり、互いを思い合うようになった事。スタッフも学びのチャンス。自分のやりたい事を見つけ、新しいNPOや団体を設立。今も互いを助け、励まし合い、協力させて頂いています。

・今まで活動を続けてこられた秘訣を教えてください。

ボランティアだけでは続かなかったと思います。日光市オリジナル、他市区町村がうらやむ、オアシス支援。存在価値を評価、予算・助成金があったので、安心運営。地域からの信頼、応援して下さいるボランティアさん、地区社協の活動・・・た〜くさんの皆様、ご協力に大感謝です。

・オアシス支援事業所の素晴らしい点は何だと思われますか？

介護保険は計画ありき、契約やら規定、曜日やらの縛り。自立支援？私は認知症？介護？・・・疑問の中で利用開始。オアシスは気楽に始まり、慣れて行ける。人員配置基準では無く、スタッフ・地域の特性、子供も留学生もみんな仲間。



ダイルームでピアノ演奏



癒しの園芸 キク芋クラブ



手芸クラブ

メッセージ

毎日 何かが新しい！残された人生、どう、生きる？笑顔で最期を迎えよう

代表者 三上幸子



代表者：中地恵子

TEL：090-5425-8402

所在地

日光市木和田島 1373-231

利用料金

¥1200

人気行事

日帰り温泉ツアー、古布小物作り



開設のきっかけ

夫、母、父を介護する中で、「一人で三人の介護するのも、地域の人も含めて五人の介護をするものあまり変わらないのだとしたら、五人の介護をした方がいい」と思い始めたことをきっかけに、この指とまれで始めました。

インタビュー

・今までの活動を振り返って、最高に生き生きとした瞬間はどのようなときですか？

耳が聞こえない利用者が、「障害者自身は自分の状況を不自由だと思っていない。障害は工夫次第で障害ではなくなる。自分は耳が聞こえないのだけれど、目があって足もある」と、とても明るく、活発に行動し、いろいろな作品を作っていました。それをすぐ傍らで見て、工夫することでなんでもできるということや、1から物を作るという過程に刺激を受けました。このような成長や感動を間近で見ることができるということが嬉しいのです。

・今まで活動を続けてこられた秘訣を教えてください。

・好奇心を持つことです。買い物に行って、旬の魚に興味を持つような些細なことでもいいし、今までやってきてこなかったことに新たに挑戦することだっていい。小さな好奇心さえあれば、生き生きと活動することができます。

・オアシス支援事業所の素晴らしい点は何だと思いますか？

ひなたぼっこでは自分で1から物を作るということを大切にしています。折り紙やレザーを使ったものづくりを行っています。工夫をすれば、バッグや名刺入れ、筆箱やポーチなどさまざまな物を作ることができます。



鹿革クラフト



製作中



皆さんで作った小物です。

メッセージ

みんなで楽しく過ごせる「ひなたぼっこ」を作ります。

代表者 中地恵子



代表者：高橋のり子

TEL：0288-21-9118

Mail：takahashi.noriko@silver.plala.or.jp

所在地

日光市大桑町 1161-1

利用料金

¥1,500（昼食・送迎込み）

¥1,100（昼食込み・送迎なし）

人気行事

カラオケ、書道、健康麻雀、踊り



開設のきっかけ

もともと婦人会の活動に参加しており、その活動が原点でした。地域の中で支え合う活動が必要と感じ、オアシス支援事業が始まった際に、婦人会で進めていこうと思いましたが、調整がうまくいかず、6人の有志で始めました。「ただ集まる

だけではなく、目的を持つことが重要である」という信念の下、参加者の学びの場、また役割を感じる場としての機能を充実させてきました。平成25年にはNPO法人化させ、より活動の幅を広げています。

インタビュー

・今までの活動を振り返って、最高に生き生きとした瞬間はどのようなときですか？

日々感動を味わいながら活動しています。クリスマス会などでは、参加者全員に役割があり、人の為に役に立っていると実感できるように工夫をしています。人の役立つ喜びを感じ、生き方さえ変わった人がいることを、もみの木の活動で何度も目にしています。

・今まで活動を続けてこられた秘訣を教えてください。

秘訣は、楽しいことを続けることです。「楽しい」の醍醐味は、①役立つことを感じられること、②生涯にわたり学びがあり、地域活動にも積極的に参加し、仲間であることを

感じられることです。利用者、スタッフ、指導者、ボランティア、皆が垣根を越えて仲間として、それぞれが自分らしさを活かしながら過ごせる場所、それを目指して頑張ってきました。

・オアシス支援事業所の素晴らしい点は何だと思いますか？

普通の生活を笑顔で送れる場であることと、そこに「目的（プログラム）」があることです。今では日替わりで毎日行事予定が組んであり、多い日には1日で3つのプログラムをこなす日もあります。「介護保険を使わない元気な人たちの生きがい支援」これほど重要で、これからますます必要とされる事業はないと思います。

メッセージ

笑顔と元気の発信所。自分らしさを発揮できる居場所です。

代表者 高橋のり子



衣装も本格的に!! 踊りを披露



たまにはお出かけも。ポピー畑へ



コンサートも盛り上がってます



代表者：小林芳枝

TEL：0288-23-0677

Mail：obachanclover@yahoo.co.jp

所在地

日光市森友 535-5

利用料金

¥1,200 (昼食・送迎込み)

¥1,000 (昼食・送迎なし)

人気行事

折り紙、習字、華道



開設のきっかけ

今から9年前「あおぞら」を10年運営した叔父は、高齢にて誰かに「あおぞら」を継いで欲しいと思っていました。私はちょうどその時、「児童合唱団」の為に東京から旧今市に毎週末通ってきていたので、私に継がないか？と声がかかったのがきっかけです。東京に住んでいるし、子供は当時成人

していませんでしたのでとても悩みましたが、音楽の世界と福祉の世界には共通なものがあると前から感じていたので、自分の世界を広げる為にもチャレンジしてみたいと思い家族に話したところ応援するよと言ってくれたので継ぐ事にしました。現在も単身赴任の形で続けています。

インタビュー

・今までの活動を振り返って、最高に生き生きとした瞬間はどのようなときですか？

歌の好きな方々で「コーラスグループ」を作り、ディサビリスや障がい者施設への慰問に出かけたり、生涯学習フェスタ・ボランティアフェスタ・大沢ふれあいまつり他色々なイベントに出演させていただきました。「今市少年少女合唱団」と一緒にコンサートに出演できた事、合唱団の定期演奏会の最後に行っていた「市民大合唱」には、ほとんどの利用者さんが練習を重ね一緒に舞台に上がってくださって、そこで私が指揮を振らせていただいた瞬間は最高に生き生きしました。歌は人を元気にします。福祉と音楽との繋がりを感じる毎日です。

・今まで活動を続けてこられた秘訣を教えてください。

利用者みなさんが、楽しくて色々な事をさせてくれて感謝だわと言ってくださったり、スタッフ・ボランティアさん・自治会の皆様方に可愛がっていただけているからです。私にとっても人生の先輩から大切な事を教わる場所であり、大切な居場所であるからこそ続けてこられました。

・オアシス支援事業所の素晴らしい点は何だと思いますか？

知らない方同士が、同じ場所に言い言葉を交わす事で仲良しになり、一人じゃないと感じ元気になっていく。数々の学びの場所でもあります。居場所作り、生きがい作りにも繋がっていく事であり素晴らしいと感じます。



クリスマスにキッチンカーを呼びました



97歳の利用者さんの誕生日会



自治会の方々と交流（さつまいもほり）

メッセージ

みんな仲良し、自分らしくいられる「あおぞら」は最高です。

代表者 小林 芳枝



代表者：和田愛子

TEL：0288-26-8140

所在地

日光市小林 4046-1

利用料金

¥500

人気行事

ゲートボール、クリスマス会



開設のきっかけ

平成14年1月6日に、オアシス支援事業の制度を利用して在宅高齢者の閉じこもり防止、生きがいの増進等を支援し、また地域の子育ての支援を行う目的で出来た施設です。開設当初はスタッフ2名とボランティア数名で「明るく家庭的な雰囲気」をモットーに気兼ねのない日常的なつどいの場を提

供してきました。現在も当初の意思を受け継ぎながら、4名のスタッフが利用者の声に耳を傾けて、笑顔の絶えない施設として活動しています。

インタビュー

・今までの活動を振り返って、最高に生き生きとした瞬間はどのようなときですか？

利用者の方が喜んで行事に参加したり、大声で笑ったり、心から楽しいと感じてもらえた時です。「また絶対来るね。」「あなたに声を掛けてもらって良かった、ありがとう」「この施設が出来て本当に良かった」という言葉が励みになります。活動内容として、月に1回の誕生会でマジック・フラダンス・語り部・舞踊・カラオケ・ビンゴなど多様なメニューを用意してスタッフ自らも楽しみ、人の為に役立つ事の喜びも感じて活動できます。誕生会の他には、ゲートボールが人気で、元気な身体を維持したり、作戦を考えて認知症の予防にもなります。

・今まで活動を続けてこられた秘訣を教えてください。

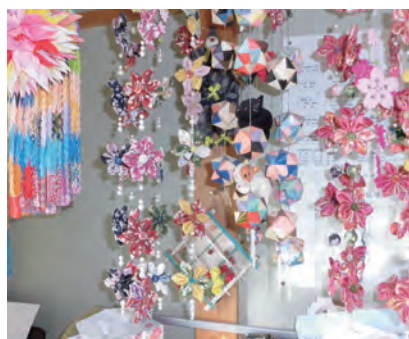
活動場所が近いことも継続しやすい秘訣かもしれません。利用者も私達の声掛けで来てくれる事が多いです。「お年寄りの面倒を見る事が好き。」ということも重要です。スタッフとの利用者が冗談を言いやすい場になっており、和む雰囲気も活動継続の秘訣と感じています。

・オアシス支援事業所の素晴らしい点は何だと思いますか？

それぞれの事業所で、メニューや活動内容が違う事が素晴らしいと思います。利用者は選んで参加することができます。ひとりで自宅にいておしゃべりができないが、ここに来ればお話しができ、たくさんの人と交流ができます。



大人気ゲートボール



手作り小物作品

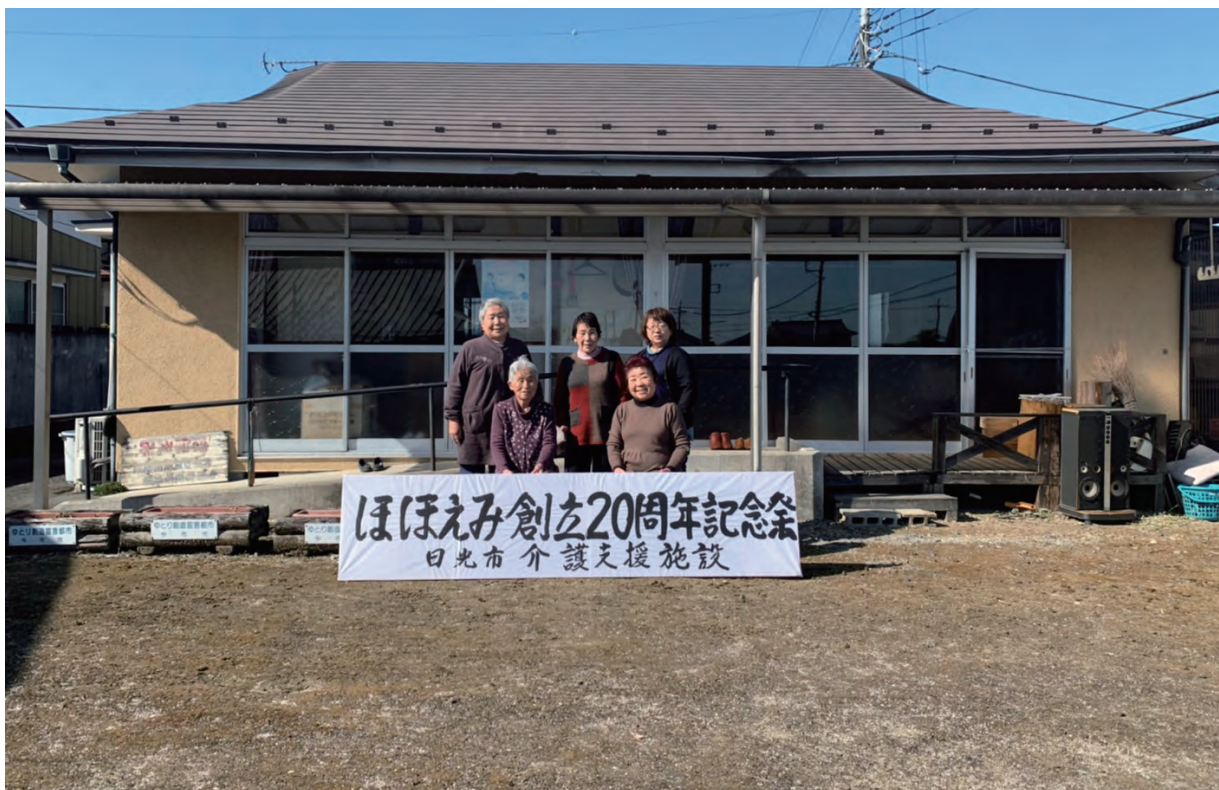


多彩な人気昼食

メッセージ

楽しく一日を過ごせる場所です。

代表者 和田愛子



代表者：永淵久子

TEL：0288-22-9008

所在地

日光市瀬尾 528-8

利用料金

¥1,200 (昼食・送迎込み)

人気行事

大正琴、手芸、民謡、カラオケ



開設のきっかけ

20年前、今市地区の母子会が日光市の高齢福祉課から依頼を受けたことがきっかけとなり開設しました。母子会とは、離婚や死別を原因としてひとり親になった家庭の総合的福祉の増進をサポートする団体であり、現在も母子会に所属する

寡婦の方々が中心となって施設を運営しています。このような縦の繋がりを強みとしているので「ほほえみ」はスタッフの後継者不足に悩むことなくアットホームな雰囲気を利用者を迎え入れることができています。

インタビュー

・今までの活動を振り返って、最高に生き生きとした瞬間はどのようなときですか？

作品展示会の日々の活動の発表会などのイベントに訪れた地域住民の方々が新たな利用者になったときです。利用者の方々に飽きさせない為の工夫を常に講じているため、イベントや企画が上手くいくとやりがいを感じます。

また、利用者さま同士が打ち解けて仲良くなっている様子を見ると大変うれしい気持ちになります。利用者の憩いの場となっている、「ほほえみで会う同世代の方々があれば遠慮することなく気軽に交流することができる。」といった嬉しいお言葉をいただいております。

・今まで活動を続けてこられた秘訣を教えてください。

新企画を取り入れ続けてきたことです。スタッフ一同常にアンテナを高く張り、新しいことを取り入れる前向きな精神を大切にしています。また、民謡教室や日本舞踊教室などを教えに来て下さるボランティアの方々のご協力もあってこそだと思っています。

・オアシス支援事業所の素晴らしい点は何だと思えますか？

気軽な気持ちで遊びに来られる点だと思います。利用者さまの中には、お食事やお話を楽しみに来られている方がたくさんいらっしゃいます。このような交流が自然と介護予防に繋がっている点も魅力の一つです。



みんなで楽しく作品作り



皮革作品



野外イベント

メッセージ

皆さんの「居心地の良い場所」をつくっています。一緒にどうですか？

代表者 永淵久子



代表者：吉田陽子

TEL：0288-26-6940

所在地

日光市板橋 941-17

利用料金

¥1,300（昼食・送迎込み）

人気行事

編物、生け花、誕生会、トランプ



開設のきっかけ

高齢の方々達から身体の痛みや悩み、そのうえ若い頃はどんなことでも楽しかったといった話を、仕事柄、身近に聞く機会が多くありました。そんな折、オアシス支援事業の存在を知り、高齢者の方々が自由に会話をしながら、新しい仲間

作りや心身の衰えを予防するお手伝いをしたいと願って開設しました。

インタビュー

・今までの活動を振り返って、最高に生き生きとした瞬間はどのようなときですか？

利用者からの「楽しかった」「来て良かった。」の声が聞かれたときはいつも嬉しくなります。大きい施設よりも一人ひとりと関わることができます。時間やスケジュールに追われず、利用者が「今日はこれがしたい」の声を聴き、反映することができます。「やりたいこと」が実現でき、それを利用者が楽しんでいる姿を見られたときです。

・今まで活動が続けてこられた秘訣を教えてください。

利用者が元気でいられる顔を見続けると励みになります。介護保険事業に移行した方が病気や転倒などをされた話を聞くと、杉並の利用を続けていればと思います。だからこそ、

利用者が元気でいられる顔を見続けることが励みとなります。

・オアシス支援事業所の素晴らしい点は何だと思えますか？

オアシスは話せる場所です。軽度の認知症の方でもじっくり話を聞くことで昔の話をしてくれてそこから会話が生まれています。会話が平行線でも利用者、職員は話を否定せず楽しまれています。心を許せて話せる関係が築かれています。利用者がやりたいこと（例：マフラー作り等）を聞くと、出来る人を講師として呼んでスタッフが憶えて取り組んでいます。オアシスはやりたいことにチャレンジできるのが素晴らしいです。



集合写真



手作りバースデーケーキ



自慢の手作り昼食

メッセージ

一人一人、皆様に合った会話を笑顔になるよう、お手伝いします。

代表者 吉田陽子



代表者：竹内みや子
TEL：0288-27-3920
Mail：

所在地
日光市板橋 2306-1

利用料金
¥1,200

人気行事
小物作り、季節のイベント、遠足



開設のきっかけ

自治会の会長をやっていた時、オアシス支援事業がはじまり、小学校区域単位で事業所を立ち上げることになりました。

初めの頃は人を集めることにも苦勞し、印刷したチラシを新聞屋に持っていき回覧してもらうこともありました。コロナになってからはチラシを配ることも困難になりましたが、

今では利用者も定着し、昔よりもにぎやかになりました。

事業所はもともと工場だった建物を貸してもらい利用しています。利用者の希望により、既存の建物を一部解体し、ゲートボール場を作ったりもしました。

インタビュー

・今までの活動を振り返って、最高に生き生きとした瞬間はどのようなときですか？

利用者の中の絵の上手い人や手先の器用な人が利用者に教える側に回ってもらうこともあります。いろんな特技を持っている人がそれを生かせる場だと思った時生き生きしていると実感できます。最近では牛乳パックでペン立てを作ったり、編み物をしています。バス旅行でひたち海浜公園に行ったことは今でも思い出に残っています。利用者さんと思い出して話すことも多いです。

猫と鶏を飼っています。猫や鶏に餌をあげたり、利用者とスタッフにとって癒しの存在になっています。

・今まで活動を続けてこられた秘訣を教えてください。

いい意味でいい加減にやってきたところですよ。近所の友人から野菜ができたから取りにおいでと言われ取りに行っ、頂いた農作物を事業所に来た利用者に配ることもあります。周囲に助けられて続けてこられました。

・オアシス支援事業所の素晴らしい点は何だと思いますか？

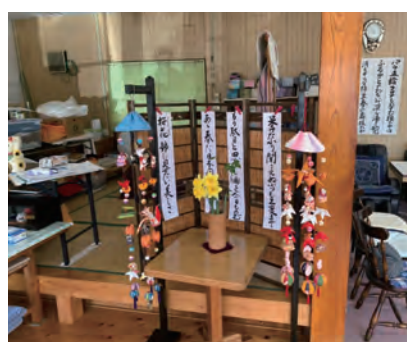
自由で縛られないところです。少しでも外出することは高齢者のためになります。外出する場所があるということは良いことです。利用者が気軽に参加できる場所にしたいと思っています。



花見会



小物作り



作品

メッセージ

1か月に1回でもいいので元気でいるために来てください

代表者 竹内みや子

11 はじめのいっぽ



代表者：小森可奈子
TEL：090-3216-9509
Mail:nyago0222@gmail.com

所在地
日光市所野 1541-2371

利用料金
¥1,000

人気行事
麻雀、遠足、季節のイベント



開設のきっかけ

日光霧降にある交流センターが東日本大震災の時避難所となり、南相馬から高齢者や障がいを持った方々がやってきました。私も役所や社協の方たちとボランティアをすることになり、その折、旧日光市内にもオアシス支援事業所を作りたいという話があがりました。民生委員をしていたこともあり、

地域の方々と日常的に買い物をしたり、温泉に行っていたりしていたので、いい機会だと思い開設に至りました。霧降地区は免許を返納してしまうと外出もままなりません。今は利用者さんと一緒に楽しんでいます。

インタビュー

・今までの活動を振り返って、最高に生き生きとした瞬間はどのようなときですか？

最後の入院をした方から「人生の最後にこんな楽しい場所で過ごせてありがとうね」と言われた時です。旧日光市では自営業が多くずっと仕事をしてきた人が多いです。その方々が「遊びたい」という思いで利用し楽しんでいる姿を見たときは生きがい、やりがいを感じます。霧降は糖尿病の方が多く糖尿病食でも美味しく食べられるメニューを作り提供していることで利用者が声をかけ合い利用者が増えています。また、亡くなった利用者さんの家族の方がボランティアで来てくださっています。ありがたく嬉しく思っています。

・今まで活動を続けてこられた秘訣を教えてください。

家族、特に娘の協力が大きいです。立ち上げ当初から自治会の協力で多くの方と繋がったこと、また、利用者からの紹介や言葉かけで大きくなったと思います。

・オアシス支援事業所の素晴らしい点は何だと思いますか？

利用者同士で情報交換しお互いの助け合いが生まれたり、仲良くなりいい関係が作られているのは素晴らしいと思います。特に、皆で相談しながら次の活動を決められるなど利用者さんと一緒にやっていけることです。



書道



麻雀



遠足

メッセージ

はじめのいっぽはピンピンコロリを目指して余生を元気に楽しく利用できる場です。

代表者 小森可奈子



代表者：山越時子

TEL：0288-25-7256

所在地

日光市日向 579

利用料金

¥500（昼食込み）

人気行事

診療の先生や住職の話、歌声喫茶



開設のきっかけ

これまで地域の人たちに育てられてきたので何か恩返しをしたいとずっと思っていました。集落のお茶飲みでは、よく人が集まっており、興味深い話を持っている方々が数多くいらっしゃいました。栗山の文化をこれからも継承していくため、このような話を伝える場を作りたいと思い9年前に「ひ

だまり」を立ち上げました。地域の方や学校、社会福祉協議会など、様々な人々の力を結集し、多くの方々にとっての学びの場、孤独を避ける場として、さらに地域に根付いていくことを願って活動しています。

インタビュー

・今までの活動を振り返って、最高に生き生きとした瞬間はどのようなときですか？

年に一回開所祝いをしています。その日は利用者へ還元する日。「栗山でも本物の芸を味わい皆で楽しもう」をコンセプトにしています。毎回地元の方が楽しみにしているイベントです。こういった行事を職員皆で取り組んできたことが誇らしいです。

職員は開所から変わらず共に仲間として一緒に活動してきました。「栗山がダメになっちゃう」という思いを共有し使命感がある仲間たちです。この仲間たちが誇りです。

・今まで活動を続けてこられた秘訣を教えてください。

地域愛です。「自分たちがどこよりもいい場所、良い地域にしていけないとダメなんだ」職員との思いは一緒です。

・オアシス支援事業所の素晴らしい点は何だと思いますか？

補助金を日光市は一般財源から継続して出しています。これは日光市のヒット作品です。ひだまりでは生産性のある活動をしています。生産性とは、来て満足してまた来たいと思う、この満足が得られることです。満足は何にも替えられません。



創立記念日



伝統芸能の披露



皆な仲良く農作業

メッセージ

人生を豊かにする場所だから一歩踏み出してください。

代表者 山越時子



代表者：本橋隆史

TEL：0288-25-6208

Mail：motohashi1734@gmail.com

所在地

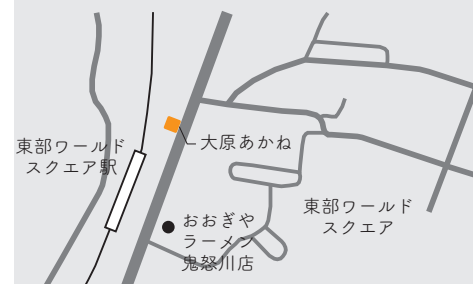
日光市鬼怒川温泉大原 334-6

利用料金

¥1,200（昼食・送迎込み）

人気行事

健康麻雀、書道、脳トレパズル



開設のきっかけ

現在保育園がある場所に元々 65 歳以上の高齢者のための保養所がありました。その場で集まってお茶を飲んだり、カラオケをしたり地域の人の憩いの場でした。しかし、グループホームを立ち上げると同時に保養所が閉鎖になってしまいました。憩いの場が無くなったことを悲しむ多くの声に応え

るため、8 年前に大原あかねを立ち上げました。自治会や老人会への参加や、商店街にチラシを置かせてもらいながら、時間をかけ少しずつ地元の人に認知してもらい、3 年目から利用者が毎日来てくれるようになりました。

インタビュー

・今までの活動を振り返って、最高に生き生きとした瞬間はどのようなときですか？

利用者さんの助けになっていると実感したときです。事業所開設当時、家に閉じこもってしまっていた方が、大原あかねに来てくれるようになりました。大原あかねに通い始めて 1 ヶ月程経った頃、「あかねがあって良かった。とても楽しい」という言葉をいただくことができ非常に嬉しかったのを今でも覚えています。事業所を始めた頃に苦労していた分、やってきたかいがあったと実感できました。

自治会長から「高齢者が気軽に遊びに行ける場所があることはありがたい、これからも活用しようね」と言ってもらえた時は、感動のあまりうるっときました。

・今まで活動を続けてこられた秘訣を教えてください。

スタッフの協力のおかげです。悩みながらも、利用者や大原あかねのことを考えながら仕事をしているスタッフを誇りに思います。利用者さんからの言葉を励みにやる気が循環してくのも継続の秘訣の一つだと思います。

・オアシス支援事業所の素晴らしい点は何だと思いますか？

みんなが自由に活動できることです。利用者さんのやりたいことや要望に合わせてボランティアの方を探し、活動内容を一緒に考えます。利用者さんが発案したプログラムのアイデアを尊重し、自分たちが環境を整える体制に魅力を感じます。



大人気のクッキング教室



クリスマス会のマジックショー



家庭の味が売りです

メッセージ

皆様の「こんなことやりたい！」を実現できる場にしたいと思っています。

代表者 本橋隆史



代表者：椎貝享史

TEL：080-7525-4120

所在地

日光市鬼怒川温泉滝 859-23

利用料金

¥1,000（昼食・送迎込み）

人気行事

買い物ツアー、ハーバリウム



開設のきっかけ

当法人は障がい者の自立支援事業を主に行っています。事業を展開していくうちに、障がい者に対する理解がうまく進まず、障がい者に対する偏見が大きいことを実感しました。地域に障がい者理解を広めたいと考えていた時に、オアシス支援事業の存在を知り、オアシスという憩いの場を活用し、

地域の方々と障がい者をもった方々のコミュニケーションの場を提供したいと考え、開設しました。健常者や障がい者という枠ではなく、誰もが人として一つのプログラムを通じて楽しめる環境を整備することを目標に行っています。誰でも自分らしく楽しめる場がオアシス支援事業の最大の魅力です。

インタビュー

・今までの活動を振り返って、最高に生き生きとした瞬間はどのようなときですか？

アイロンビーズなどの創作活動もするのですが、その色使いなどから障害者の方の感性の豊かさや創作力の高さを感じます。毎日新しい発見があってお互い理解が深まる時がとても嬉しい瞬間です。

・今まで活動を続けてこられた秘訣を教えてください。

利用者の方の笑顔や喜びがモチベーションに繋がっています。例えば、昼食を食べた時に利用者の方から「美味しい」という声が上がると嬉しくなりますね。昼食は職員の方が工夫をして旬なメニューを提供しています。

また、毎日が発見の連続でそれがワクワクと学びにつながっています。利用者の新しい一面を発見した時にこの仕事の奥深さを感じます。職員の皆さんが理念に沿って頑張ろうとしてくれているからこそ活動が継続してこれたのだと思います。

・オアシス支援事業所の素晴らしい点は何だと思いますか？

オアシス支援事業所の活動には「絶対やってください」がありません。だからこそ柔軟に、ゆったりと利用者の方に合わせたサービスが提供できます。利用者の方にしっかりと選択権があるんですね。だからこそ、事業所としての特色も出しやすいと思います。そんなサービスを求めて、桜蘭では遠くからもご利用者が来てくださっています。



大人気カラオケ



大人もハマるアイロンビーズ



足湯遠足

メッセージ

明るく楽しいオアシスを活用して、元気な毎日を過ごしませんか？

代表者 椎貝享史



代表者：旭山友里

TEL：0288-25-7878

Mail：chiisanaki3445@gmail.com

所在地

日光市大沢町 334-5

利用料金

¥1,200

人気行事

石窯料理教室、日帰り旅行



開設のきっかけ

以前からオアシス支援事業の噂は聞いており、他の事業所にも行ったこともあったので、オアシスにはとても魅力を感じていました。当時、大沢地区には事業所がなく、こんなにすばらしい事業をやらない選択はないと思い開設を決意しました。「子どもから高齢者が交流できる場」が作れるように日々

試行錯誤しています。開設時からある石窯が特徴で、石窯を活用したイベントが大人気です。今では多方面から利用者さまが来ていただいております、利用者さんたちが笑って過ごせる憩いの場になっています。

インタビュー

・今までの活動を振り返って、最高に生き生きとした瞬間はどのようなときですか？

石窯を使ってピザなどを焼くイベントで利用者さんたちが心から楽しんでくださっている様子を目にしたときです。石窯を喜んでいる利用者さんの姿を見る度に「石窯を入れてよかった」と毎回実感しています。石窯は当施設の象徴になっています。また、外出するイベントでは、どちらがスタッフでどちらが利用者さんかわからないくらい利用者さんたちはアクティブで疲れ知らずといった様子です（笑）そして、毎回帰り際に「ありがとう。今日も楽しかった」と言われると、『やりがい』を感じ「また、頑張ろう」という気持ちにさせていただいております。

・今まで活動を続けてこられた秘訣を教えてください。

利用者さんに支えていただいていることが秘訣です。利用者さんから学ぶことがたくさんあり、スタッフのほうが楽しんでいます。また「オアシスがなくなったら、利用者さんたちの『生きがい』がなくなってしまう」という使命感も強くあります。

・オアシス支援事業所の素晴らしい点は何だと思いますか？

みんなで助け合いながら、日々成長し、笑い合いながら過ごせるという点だと思います。また、市が運営する事業の為、各施設がサービスにだけ集中して活動でき、独自の理想を追い求められる点も素晴らしいと思います。



毎年恒例もちつき大会



ボランティアさんのクラフト作り



チェーンソーアートイベント

メッセージ

とりあえず、楽しいので来てみてほしい！石窯料理を一緒に楽しみましょう。

代表者 旭山友里

あとがき

「みんなを明るくするオアシス支援事業所」を愛読していただきありがとうございます。

今回、約 20 年続いた日光市独自の福祉事業、「在宅介護オアシス支援事業」の軌跡を一冊の本にまとめてみました。このような冊子を作ることが初めてだったため、つたない部分もありますが、全員で力を合わせて作りあげました。

作成を通して、各施設の特徴や特色がよくわかり、本当に素晴らしい方々が志高く運営していることを実感し、大切なことを学ばせていただきました。今回、多くの方々から貴重な話を聞かせていただけたことが、なによりの収穫かと思っています。

すべての事業所が今回ご賛同していただいたこと、本当にありがとうございます。

これからも地域に根ざした「憩いの場」を目指して頑張ってください。

オアシス連絡協議会

令和 3 年度 副会長 椎貝享史

編集

- ・ オアシス連絡協議会
椎貝享史（桜蘭）
高橋正俊（もみの木）
本橋隆史（大原あかね）
- ・ みんなプラ事務局 オフィス C 川田浩也
- ・ とちぎボランティア NPO センター ぽ・ぼ・ら 町田英俊
- ・ 宇都宮大学大学院修士 2 年 一言大地
- ・ 宇都宮大学大学院修士 1 年 徳竹智可良

